



学校だより

1月号 文責 大塚博守

郷音



今月の生活・保健目標

- 元気がよく、気持ちのいいあいさつをしよう。
- 外で元気に運動しよう。

新年おめでとございます

2018

昨年は、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。今年も教職員一同、子ども達のために誠心誠意努力をいたします。年頭に当たり皆様方の御健康と御多幸を心よりお祈りいたしますとともに、本年も本校教育に御理解と御支援賜りますこと、お願い申し上げます。

さて、今年の干支である戌(いぬ)の特徴は、「勤勉で努力家」となっています。どの子も「勉強ができるようになりたい」「〇〇が上手になりたい」「将来〇〇になりたい」などの願いや希望、夢をもっていきます。子どもの一番近くで声をかけ、日々の成長を見守る親や教師は、そんな子ども達の背中を力いっぱい押してあげられる存在でありたいと思います。学校、家庭、地域が共にスクラムを組んで「できる」「やってみよう」「がんばるぞ」という肯定的な気持ちをいっぱい引き出してあげられる声かけや支援を引き続きしていきます。



12月の足あと

12月13日(水)
8:25～ 体育館

ありがとう集会開催!

例年、川西小学校では、この時期に日頃お世話になっている見守り隊の方々を学校にお招きし、ありがとう集会を実施しています。



今年は、運営委員会の発案で感謝の気持ちを伝える「見守り隊に100パーセント」という替歌を披露しました。そしてプレゼントは、フレンド活動の一環として作成した「メッセージ入り安全たすき」を贈りました。ゲームやクイズを一緒に楽しみながら、心温まる時間を過ごすことができました。

川西町では、10数年前に見守り隊が組織されて以来、登下校時の見守りが当たり前のように行われていますが、本町のように手厚い見守り活動ができています。市町は少ないと思います。

保護者の皆様の感謝の気持ちも何かの機会に伝わるといいですね。



教育講演会(土曜参観)

12月2日(土)

「子どもの心に届くコミュニケーションのヒント」と題された講演でしたが、まず率直な感想としては、退屈したり緊張したりする場面が全くなく、時間があっという間に過ぎました。

まず大切なことは、「相手の言う事・話をよく聴くことから始める」ということについて分かりやすく、時には笑いを誘うような実例を挙げるなかで理解させていただくことができました。また、自分自身の感情に注目し、気づくことからコントロールできるまでの道筋や自分も相手も傷つけないストレス対処法を学ぶことができました。親の心に届くメッセージをいっぱい頂けた、津村薫先生との素敵な出会いでした。



1月の主な行事

9	火	始業式、交通安全指導
11	木	給食開始、体測①
12	金	委員会、3年アイマスク体験体測②
15	月	クラブ見学3年、体測③ 諸費用引き落とし
16	火	体測④
17	水	体測⑤ 研修会のため 13:20下校
18	木	体測⑥
23	火	F活動L、交通安全指導
24	水	研修会のため 13:20下校 4年社会見学
26	金	芸術鑑賞会(3、4校時)
29	月	5年社会見学
30	火	3年社会見学
31	水	委員会

PTAの活動

交通安全指導
9日(火)、15日(月)

本部役員会
26日(金) 16:30



<2月の主な行事予定>

1日	学校保健委員会	5日	全校朝会
9日	1～3年生授業参観	14日	F活動S
15日	4～5年生授業参観	16日	町防災訓練
19日	6年生授業参観	21日	クラブ
23日	ひまわり授業参観	28日	委員会、6年生を送る会

感謝の気持ちを大切に

お正月は様々な形で、家族で、親戚と、地域の会合などで食事をする機会が多くあったことと思います。食事の前に「いただきます」と言って食べ始め、食べ終わったら「ごちそうさまでした」といって箸を置くことは、日本ではあまりにも当然の常識になっています。

それは、「料理をしてくれた人への感謝(子どもならこの他に、こうして美味しく、楽しい食事ができるのは家族(保護者)のお陰ですという意味がこめられています)」「食材を生産してくれた人への感謝」「見えないところで関わってくれている人への感謝」「生きていて、こうして食事ができることへの感謝」、そして「おおもとになっている自然の恵みや生命への感謝」等々の素直な気持ちが、「いただきます」「ごちそうさまでした」に集約されているのだと思います。

レストランで自分で代金を支払っているのにもかかわらず、「いただきます」「ごちそうさま」を言う人が多いのも上のような意味合いがあるということです。自分で料金を支払っているから言わなくてもよい、ご馳走されたときだけ「いただきます」「ごちそうさまでした」をするという軽薄なものではないのです。自然の恵みや生命への畏敬の念、食事ができる自分の存在への感謝、それを可能にしてくれている人々への感謝の心など、もっともっと奥の深いものがあると考えられます。

いただきます



学校では、給食が毎日行われています。今後も自然な姿で「いただきます」が言え、程よい大きさの声で会話ができて、そして、ああ美味しかった「ごちそうさまでした」と締めくくる子どもを育てたいと思います。

